

SMBC カップ第22回全国小学生タグラグビー大会大分県予選 実施要項

- 目的 全国各地の小学生がタグラグビーをプレーすることにより、ラグビースピリットを通じ、仲間と助け合うことを体験し、自ら考えて道を切り開くことを身につけ、スポーツの意義を実感することを目的とする。
- 主催 (公財)日本ラグビーフットボール協会 大分県ラグビーフットボール協会
- 主管 大分県ラグビーフットボール協会 普及育成委員会
- 期日 令和7年 12月 13日 (土)
- 会場 レゾナック サッカー・ラグビー場 Aコート (大分市横尾 1351 番地)
- 競技規則 (公財)日本ラグビーフットボール協会タグラグビー標準競技規則に基づく大会規則に準ずる。
※人数は5人制、コートの広さは横25m×縦30m程度(インゴール5m程度)とする。
- 参加費 1人 300円(当日受付時に徴収します)
- 申込方法及び締め切り 令和7年12月5日(金)までに [google フォーム](#) で申し込む。
※参加申込書は、大会当日に受付で提出とする。(必須)
九州協会および日本協会に送付するので、必ず提出すること。
※電話・ファックス・メールでの申し込みは、受け付けない。
- 組合せ等 参加チーム数に応じてタイムテーブルを作成する。組合せについては、当日、抽選で決定する。
- 競技方法 プール戦とトーナメント戦の併用を基本とするが、参加チーム数により決定する。
ただし、県予選大会はタグラグビーの普及を目的として、カップ戦とフレンドリーマッチの2つのカテゴリで実施する。
フレンドリーマッチは、大分県予選大会のみの適用とし、上位大会(九州・全国)への出場権は付与しない。
(1) カップ戦 予選リーグ及び決勝トーナメントを実施。**3位決定戦を実施します。**
(2) フレンドリーマッチ 予選リーグおよび**予選リーグ順位ごとにグループ戦を実施する。**
- エントリー人数
(1) 7名以上で編成し最大10人までとする。
(2) **大会開始後にケガ等でやむを得ず6人となってしまった場合でも引き続き大会への参加は認める。**
(3) (2)の規定は、本大会開催中に適用するので、カップ戦において当日のスタート時に6人の場合は**オープン参加とし九州ブロック大会参加資格対象外とする。**
(4) 負傷・疾病等で5人以下となった場合は、その時点でオープン参加とします。カップ戦決勝トーナメントでは、次の試合には進めない。
- 勝敗および順位決定
(1) 後半終了時にトライ数の多いチームを勝ちとする。
(2) 同点の場合：予選リーグおよびフレンドリーマッチのグループ戦においては引き分けとする。
カップ戦決勝トーナメントは、前後半2分の延長を行う。延長戦でも勝敗が決しなかった場合は、出場選手5名によるジャンケンによって決定する。3名以上勝った者のチームを勝ちとする。
(3) 予選リーグおよびフレンドリーマッチのグループ戦は勝ち点制とし、勝ち点の多いチームが上位とする。
勝ち点 勝ち3点 引き分け2点 負け1点
(4) 勝ち点が並んだ場合 ①得失点差 ②直接対決の勝敗 ③選手5人によるジャンケン の順で順位決定する。
- 大会規定
(1) ペナルティ数による勝敗決定の方法は採用しない。
(2) 帯同コーチやベンチ控え選手、応援の保護者等のマナーが悪い場合は、会場からの退去を命ずる場合がある。
(3) 九州ブロック大会への参加権を付与されたチームのベンチマナーが悪い場合でも、チームの参加権取り消しの処分は行わない。ただし、九州協会への報告事項とし、九州ブロック大会での当該の帯同コーチはベンチ入り認められない場合がある。
- 参加資格
(1) カップ戦は小学生4~6年生(日本の学期制による)で編成したチームで、学年の編成内容は問わない。
フレンドリーマッチは幼児から6年生までの全学年への参加を可とする。ただし、九州ブロック大会への出場権は付与しない。
(2) 原則、単一小学校の参加とする。但し、タグラグビー普及の地域差等により単一小学校でチームが組めない場合は、複数の小学校で構成されたチームも可とする。あくまでも普及目的であり、強化や勝利のみを追求するチーム編成とならないように留意願います。
(3) 参加チームは成人2名が必ず帯同コーチとして引率し、登録選手の保護者から参加の承諾を得ていること。また、大会要項その他主管団体の定める大会規則の遵守を誓約すること。
(4) 帯同コーチは当該チームを指導掌握し、責任を負う事の出来る者であること。

但し、予選大会において帯同コーチが複数のチームを兼任する事は構わない。

※ 参加資格について不明の点は大会事務局にお問い合わせください。

- 罰 則 大会要項、大会諸規約、競技規則について、違反・スポーツマンシップに反する行為があった場合は厳重な処罰を行う。
- 安全対策 (1) 試合中の傷害について、当日の応急処置は主管団体が施すが、事後処理はチーム及び保護者が行うものとする。
(2) 大会期間中の保険は主催者（JRFU）でまとめて加入する。
(3) 感染症対策に関しては、発熱等がある場合は出場を控え、決して無理をさせないこと。
- 健康管理 (1) 大会参加にあたっては、当該チームにて予め健康管理を行い、充分留意すること。
(2) 試合中以外での病気傷害についてはチーム内で処理すること。
- 肖像権 大会出場選手の肖像権は主催者にあるものとする。
※公式ウェブサイト内の掲出や、次年度以降の大会のポスター・プログラム等に使用される可能性がある。
- 表彰 (1) 1位～3位チームを表彰する。
(2) **カップ戦の上位チームには、九州ブロック大会への出場権を付与する。**
ただし、感染症状況によっては、上位大会は実施されない場合もある。
- その他 (1) 大会で使用するタグ・ベルト・ボールは協会本部のものを使用する。
(2) 各チーム帯同コーチ1名は、他のチーム同士の試合のタッチジャッジが務められること。
タッチジャッジはボールあるいはボールを保持したプレイヤーがタッチに出たかどうかの判断をする。ただし、レフリーからの求めがあった場合は把握した状況をレフリーに伝えることができるものとする。
(3) **チームベンチでは、帯同コーチ2名は必ず着席をしておくこと。**
ゲーム中に着席していなかったり、自チームや相手チームを問わず指導や叱責をしたりすることはマナー違反とし、本部からの注意・指導の対象となる。ゲーム中は、拍手や身振り手振り、笑顔などを心がけ子どもたちが心からゲームを楽しめる雰囲気づくりに努めること。建設的な声かけは可とする。
戦術の指示、パス、タグ等のプレーの指示、相手チームの動きについての指示等、自他を問わず選手の判断による自由なプレーを妨げる声かけは禁止とする。
(4) **保護者等の応援は決められた場所で行うこと。**
保護者による本部への質問・苦情等は一切受け付けない。万が一、そのような行為が繰り返された場合は、会場からの退去を命ずる。
※参加チームの代表や帯同コーチは事前に応援場所等については周知徹底をしておくこと。
(5) 感染症拡大状況によって、大会開催有無を含め、大会規模縮小など、制限を行うことがある。
(6) 県外チームの出場は認めない。

問い合わせ 大分県ラグビーフットボール協会 普及育成委員会 委員長兼タグ部門長 上田雄一
携帯電話 090-7926-5454 mail:tag.oita@gmail.com

申込用 Google フォーム <https://forms.gle/2TWohHmK1q5qLeD69>

申込用 QR コード

